

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書（その1）

計画体系コード		5-3-2			事業名	乗継施設等整備推進事業		
担当	市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課					菅井 航	TEL211-2275	
全体計画								
事業内容	公共交通機関の乗り継ぎを円滑にし、利便性を高めることを目的に、平成14年度に「札幌市乗継施設等整備基本計画」を策定した。その中で、施設整備を一体的に行う必要があるなど、優先度が高い駅周辺地区について、具体的な乗継施設等の検討を行う。 ○栄町：地下鉄栄町周辺における公共交通の利用促進や、乗継環境の向上を目的に、地元住民とのワークショップ等を行いながら、具体的な検討を行う。 ・乗継円滑化に向けての検討 ・地元住民とのワークショップ ・路上駐輪場の社会実験の実施 など ○苗穂：苗穂駅南北駅前広場及び自由通路の都市計画決定に向け、具体的な調査・検討を行う。 ・検討施設：南口駅前広場、北口駅前広場、自由通路 ○基本計画：新たな都市交通体系マスタープランを受けて「札幌市乗継施設等整備基本計画」の見直しを行う。					<年度別の事業内容>		
						平成19年度	・栄町駅周辺交通環境整備計画の策定	
							・JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定に向けた調査・検討	
						平成20年度	・栄町駅周辺駐輪場整備の検討	
							・JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定に向けた調整	
平成21年度	・JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定							
	・基本計画の見直し							
平成22年度	・基本計画の見直し							
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容（決算）					平成20年度事業内容（決算）		
	○栄町 地元住民とのワークショップを3回行い、「栄町駅周辺交通環境整備計画」を策定した。 また、ワークショップの結果についてはニュースレターを発行し、地元へ情報提供を行った。 さらに、路上駐輪場の社会実験を2箇所で行った。					○栄町 新たな駐輪場の整備に向けた検討を行った。 また、路上駐輪場を2箇所確保した。		
	○苗穂 JR苗穂駅に係る交通施設の都市計画決定に向けた調査・検討を行った。					○苗穂 JR苗穂駅に係る駅前広場・自由通路等、都市計画決定に向けた関係機関との協議を行った。		
	平成21年度事業内容（予算）					平成22年度事業内容（予算）		
	○栄町 新たな駐輪場の整備に向け、候補地の選定、規模の調査・検討を行う。							
○苗穂 JR苗穂駅に係る交通施設の、都市計画決定及び費用負担等に係る協定に向けた関係機関との協議を行う。								

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書（その2）

計画体系コード	5-3-2		事業名	乗継施設等整備推進事業		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
栄町駅周辺交通環境整備計画の策定	検討	策定				策定 (19年度)
乗継施設等整備基本計画の見直し	検討	—	調整	検討	策定	策定 (22年度)
市民・企業等との協働の状況（市民・企業等の参加、支援、協力の状況）						
■市民との連携、市民参加 ○栄町：地元住民との勉強会やワークショップを通じて問題点を把握し、平成20年度に「栄町駅周辺交通環境整備計画」を策定した。 ○苗穂：住民、企業、行政の協働で、平成17年度に「苗穂駅周辺地区まちづくり計画」が策定されており、また、今後の計画策定においても、地元まちづくり協議会等の意見を取り入れながら進めていく。 ■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 苗穂においては、事業の成果に大きな影響を与えることから、JR北海道との連携が重要である。 ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり						
評 価（ 成 果 ）			課 題			
○栄町：地元住民と協働で、「栄町駅周辺交通環境整備計画」を策定し、今後の具体的な施設整備に繋げることができた。 ○苗穂：JR苗穂駅に係る交通施設の調査検討を行った。			周辺のまちづくりと歩調を合わせた検討が重要であり、関係機関や地元住民等と調整をとりながら、整備効果が最大限発揮できるように、施設規模や事業手法などを検討する必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
平成22年度に乗継施設等基本計画の見直しを行う予定である。 平成23年度以降については、乗継施設等整備基本計画の見直しを踏まえ、優先度の高い駅周辺地区から整備検討する予定である。						

(単位:千円)

計画体系コード		5-3-2		事業名		乗継施設等整備推進事業	
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	11,000	6,000	5,000	5,000	27,000	
	財国・道支出金	0	0	0	0	0	
	財源市債	0	0	0	0	0	
	財源内のその他	0	0	0	0	0	
	財源内の一一般財源	11,000	6,000	5,000	5,000	27,000	
予算	事業費	11,000	9,300	1,300	—	21,600	
	財国・道支出金	0	0	0		0	
	財源市債	0	0	0		0	
	財源内のその他	0	0	0		0	
	財源内の一一般財源	11,000	9,300	1,300		21,600	
実績	事業費	13,147	2,285	—	—	15,432	
	財国・道支出金	0	0			0	
	財源市債	0	0			0	
	財源内のその他	0	0			0	
	財源内の一一般財源	13,147	2,285			15,432	
事業費の進捗率		(H19実績事業費+H20実績事業費+H21予算事業費) / (計画事業費)				62.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》 苗穂駅に係る調査検討費が当初見込みより増額したことにより、乗継施設等整備基本計画の見直しに係る経費を削減する予定。							
[19年度] 調査検討費が増額(栄町駅:5,000千円⇒3,500千円、苗穂駅:6,000千円⇒9,600千円)							
[20年度] 苗穂駅に係る補足検討のみ実施した(6,000千円⇒2,300千円) 栄町駅の調査検討は、外部委託せず、内部で検討を実施した。							
[21年度] 栄町駅に係る交通環境調査調査検討のみが必要となった(5,000千円⇒1,300千円)							
[22年度]							